

中学部の交流について

●居住地校交流

本校肢体不自由教育部門中学部では、生活の基盤である地域に設定された学校の生徒と交流することで、子どもの活動が地域社会における活動へと広がっていくように取り組んでいます。希望者を対象に、相手校と調整をして年に数回の交流を実施します。

令和4年度は4名が授業や運動会に参加する形で実施しました。

●学校間交流

本校中学部では、大阪市立やたなか小中一貫校と交流を行い、交流及び共同学習を通して、地域の子どもたちとの相互理解を図っています。交流校と日程を調整し、知的障がい教育部門と肢体不自由教育部門が1年おきに交互に行っています。令和4年度は知的障がい教育部門が実施しました。

肢体不自由教育部門では、大阪府立平野支援学校と毎年交流学習を行っています。活動内容は以下の通りです。

①大阪市立やたなか小中一貫校

参加者：大阪府立東住吉支援学校 3年生

（知的障がい教育部門）

大阪市立やたなか小中一貫校 9年生

学習内容

- ・両校の文化祭の演技を見せ合った。（映像）
- ・演技の感想や手紙の交換

※新型コロナウイルス感染症対策で、対面での交流は実施しなかった。

②大阪府立平野支援学校

実施日：令和4年11月24日（木）9：30～12：00

場 所：大阪府立平野支援学校

参加者：大阪府立東住吉支援学校 1～3年生

（肢体不自由教育部門）

大阪府立平野支援学校 1～3年生

学習内容

- ・はじまりのあいさつ
- ・ポッチャ交流
- ・おわりのあいさつ

※交流実施後に、手紙の交換を行った。